

【平成17年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	離職者・無業者に対するフラワー業界への就職支援 と人材紹介プログラムの開発		
学校法人名	学校法人 伊東学園		
学校名	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校		
代表者	理事長 伊東政信	担当者・連絡先	永井 建 mail:tokyo-th@ito.ac.jp TEL:03-3292-0954 FAX:03-3295-2349
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <p>昨今言われている「職業ミスマッチ」といった事柄に関して、いかにして自分の適職を見付けだすかを主眼に所謂、無業者（フリーター・ニート唐）・離職者と称されている若者を生花店作業の中で比較的技術レベルを求められない店頭小売の分野に就業させるための教育プログラムと就職支援システムを開発する。</p> <p>&lt;成 果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワーデザイン短期講座カリキュラム</li> <li>・花壇園芸短期講座カリキュラム</li> </ul> <p>以上2つのカリキュラムを設定し、無業者・離職者において花き業界への転職・就職等希望する者に対して、60分×3コマ×10回を実施した。各カリキュラムによる授業の実施によって以下の成果が顕著に現われてきたと実施担当者各位からの意見であります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 無業者に関してですが「物を作り上げる楽しみ」を実感することによって、一種の粘り強さを習得させることができた。</li> <li>② 花壇園芸で特に顕著に現われてきたものであるが「協調性」といった、当たり前の社会現象を習得させる事ができた。</li> </ol> <p>※ 成果として概ね以下のようにまとめあげることが可能である。</p> <p>生花（植物）を扱う事は、生きものを扱う事であり、それは根気と忍耐を要する作業として習得されるものであります。この生きもの（植物）を扱う事によって、一人よがり・非協調性といった職業従事者にとってもっとも好ましくない状況を矯正することができたと考えており、これは大きな事業成果といえます。</p> <p>花（植物）の成立・管理・装飾等を通じて「我儘で内弁慶」という精神的弱点を花（植物）に関しての実習により克服できる見通しを与えることも併せできたことは大きな成果といえます。</p>			